

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスおひさま		
○保護者評価実施期間	2024年12月11日		～ 2024年12月18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36名	(回答者数) 7名
○従業者評価実施期間	2025年1月10日		～ 2025年1月17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 14
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども達への支援においては、それぞれの課題や留意点、ストレングスにおいて職員の共通認識のもと適切な支援。	日々のミーティングや職員間の情報共有を積極的に行っている。	地域の子どもたちとの交流機会を設けていく。 具体的には、児童館との交流を持つために、まずは先方との関係作りから始めていきたい。
2	学校や相談支援事業所との連携を行い、関係機関の支援の足並みをそろえている。	子どもたちの様子や環境に変化があれば、各関係機関へ連絡・情報共有をし課題解決に向けて取り組んでいる。必要に応じて会議の打診も行う。	保育所や子ども園、児童発達支援センターとの連携を進める。
3	子どもたちが過ごしやす環境設定。	定期的な環境の見直しと変更。 子どもへのアセスメントと情報共有。	必要に応じて家具や備品の購入。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	子どもたちを一番身近に支える保護者への家族支援の弱さ。	支援に関わる保護者向けの研修の案内が不十分であった。 保護者からの相談に応じる環境や対応が十分ではなかった。	保護者向けにペアトシや研修・講演会等の案内はお知らせしているものの、周知不十分なためその方法を見直す必要がある。 家族からの要望や申し入れに対して迅速に対応する。
2	支援者の育成とより専門的な支援	法人・事業所内での研修が不十分。	外部研修や法人・事業所内での研修の企画を進めていく。
3	緊急時の対応や避難等の対応および訓練	事業所が移転したことにより、地域の地理感や避難場所への移動等、職員を含め今以上に訓練が必要であり、それが保護者を含む家族の安心した通所につながると考える。	職員も含め、緊急時の対応や訓練の機会を増やし、対応力を上げていきたい。また、それに関する外部研修も検討。